

日本保育者養成教育学会 第8回研究大会のご案内【WEB開催】

〈第2号通信〉

大会テーマ：「保育者養成教育の近未来」

開催方法：【WEB開催】 ※オンラインによるシンポジウム・個人研究発表（参集はしません）

主催校：東京家政大学 子ども支援学部

事務局：名鉄観光サービス株式会社 仙台支店

開催日：2024（令和6）年3月9日（土）

☆プログラム

9:30～ 開会式

10:00～12:00 シンポジウム

13:00～15:00 口頭発表及びポスター発表（第1セッション）

15:15～17:15 口頭発表及びポスター発表（第2セッション）

シンポジウム

テーマ：「保育者養成教育の近未来」

コーディネーター：保坂 遊（東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科 学科長・教授）

シンポジスト：高辻 千恵（こども家庭庁 成育局保育政策課 成育基盤企画課 教育・保育専門官）

北野 幸子（神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間発達専攻 教授）

石川 昭義（仁愛大学人間生活学部子ども教育学科 教授、日本保育者養成教育学会長）

企画：和田 明人（第8回研究大会 実行委員）

*敬称略

<企画趣旨>

コロナ禍ではエッセンシャルワーカーの一種とも位置づけられていた保育者であるが、現場では相変わらず手薄な体制のもとで煩雑な業務に日々追われているのが実情で、社会で必要不可欠な労働者でもある（はずの）保育者が不足しているという現実課題は解消されてはいない。

保育者不足を解消するために、保育職の魅力伝える取り組みが各地で行われ、保育職の仕事そのものの魅力は発信されてきている。また、キャリアパスや処遇改善制度の創設等により、報酬や勤務環境は以前と比べて改善されてきている。しかし、そうした現実がさほど認知されていないためなのか、世間一般にはいまだ保育職の待遇面や労働条件等については、『労多くして功少なし』という印象が根強いようである。また、昨今の保育現場における、あつてはならない事件・事故等が繰り返し報道されたことも影響し、保育職については魅力どころか、一層ネガティブなイメージが社会に広まっているのではなかろうか。

いずれにせよ、近年の保育者養成校志願者の減少は著しく、一部では保育者養成教育の実施・継続さえ困難になり始めている。

また、保育者養成校への入学までは、それなりに保育職に夢や希望を抱いていても、入学後に学びを進めるにつれて、次第に保育職の資格を取ることに専念し、保育職に就くことを選ばなくなる学生は現存するし、中には一般企業への就職活動を優先するために実習も断念して、資格を取ることをすら放棄してしまう学生も実在する。加えて、就職後の早期離職、資格保有者の潜在化など、全体的な保育者離れの傾向は続いている。こうした厳しい状況の中で保育者養成教育は近未来をいったいどのように見通すべきなのであろうか。

保育者養成教育の諸種の難題解決を実現可能にする方略はいかなるものか。

本シンポジウムでは、眼下の現実を直視しつつ、まずは保育行政の立場からの見解を明示いただき、続いて保育者養成教育や現職研修などに関する国際動向や体制整備状況等の研究知見をも提供いただきながら、本学会の会長より現状認識と展望等を発題いただく。

保育者養成教育関連の行政・学界・学会を代表する方々それぞれの視座から提言いただき、真摯かつ闊達な論議とされたい。

○保育現場の人材確保・育成に係る取組の現状と課題—保育行政の立場から

高辻 千恵（こども家庭庁 成育局保育政策課 成育基盤企画課 教育・保育専門官）

少子高齢化に伴う労働人口の減少により、人材不足は保育に限らず多くの分野で喫緊の課題となっている。国では保育士・保育教諭の確保に向け、累次の処遇改善のほか、新規の資格取得と保育現場への就職の促進、現任者の就業継続支援、離職者の再就職支援と、様々な層を対象に総合的な対策を講じているが、それだけではなく、保育という仕事・保育者という職業の価値や魅力に対する理解を広め、社会全体で共有していくことも重要と考える。地域において保育の現場に期待される機能がより拡大するなかでの保育者の役割や専門性と養成・資質向上・キャリア形成のあり方、それらを支える仕組みの見直しと構築、自治体間の格差や各地域の実情に即した対策、運営主体や規模が多様であることを踏まえた現場のマネジメントの向上等々、課題は多岐にわたるが、保育の質と量の両面で要とも言うべき保育者の確保・育成の今後について、参加者の皆様とともに考えたい。

○保育専門職への社会的認知の浸透をいかにすすめることができるのか

北野 幸子（神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間発達専攻 教授）

保育人材の確保、定着がままならない現状の大きな背景は、保育専門職に関する社会的理解と評価の低さがあると考えられる。実際、保育従事者国比較調査（OECD, 2019）では、どの国の保育者も自分の仕事への満足度が高いが、保育者が感じる社会や、保護者、こどもからの評価は、他国とくらべて、日本がいずれも著しく低く、最下位である。

保育の仕事は乳幼児教育を中心に、保護者支援や子ども家庭福祉にまで及ぶ。国際労働機関（ILO）国際標準職業分類（ISCO）の現行版 2008 年であれば、発達を踏まえて養護と教育を一体的に行う保育士は「2. 専門職」にあたるが、その認知が十分に浸透しておらず「5. サービス・販売従事者」の小項目「531. 保育従事者、教師補助員」や「532. 介護福祉従事者」とみなされているのではと危惧される。

一方、世界に目を向けると、子どもの権利条約では、低年齢児の権利保障が課題としてあげられ、SDGs の目標 4 とかわりターゲット 4.2 では、誕生からの質の高い育ちの保障が指摘されているとおり、専門職養成の高度化がすみ、フランス、ポーランド、ポルトガルで修士、フィンランドが修士と学士、ベルギー、チリ、デンマーク、エストニア、ドイツ、メキシコ、NZ、ノルウェー、スロヴェニア、スイス等で学士となっている（OECD, 2021）。

本シンポジウムでは、養成の高度化、配置基準、処遇等にかかわる改革動向を紹介し、今後私たちが保育専門職への社会的認知の浸透をいかにすすめることができるのかを共に考えたい。

○保育者養成教育を議論する脈絡—政策課題と教育課題との狭間で

石川昭義（仁愛大学人間生活学部子ども教育学科 教授、日本保育者養成教育学会長）

筆者と福井県との共同で県内の自治体を対象に実施した調査によれば、7 年間（2015 年度と 2022 年度）で、保育の施設数も入所児童数も減少しているのに対し、必要な保育者の数は、むしろ増加しているという変容ぶりだった。そこで浮き彫りになったことは、園の定員割れから生じる「経営困難」と、にもかかわらず「保育者が不足している」という一見矛盾するような事態が同時進行している現実であった。

これからの保育者養成教育は、一方ではこうした「現実」とともに政策課題としての需給関係に巻き込まれ、もう一方で、「こども基本法」の施行、医療的ケア児や外国にルーツを持つ子どもへの対応といった現代的な課題への直面を余儀なくされる。そこに持ってきて、保育職不人気の影響なのか、入学者は減少傾向にあり、学生の資質能力は多様化してきているように見える。私たちは、職業準備教育と高等教育の両義である保育者養成教育の量と質の課題にどのように立ち向かうのか。会員の皆様とともに考えたい。

1 大会参加の申し込み・費用

1) 申し込み方法

- ・大会参加の予約申し込みは、学会ホームページ（以下「学会 HP」という）
URL → <http://www.h-yousei-edu.jp/> から行ってください。
- ・大会参加の予約申し込み（参加費 会員 5,000 円 非会員 5,500 円）の締め切りは、2024（令和 6）年 1 月 31 日（水）となります。

2) 大会参加費の納入

- ・大会参加費の納入締め切りは、2024（令和 6）年 1 月 31 日（水）です。

3) 費用

大会 参加費	会員	予約参加	5,000円
	非会員	予約参加	5,500円

2 研究発表について

1) 研究発表の資格

発表者（筆頭発表者および連名発表者）は、以下の条件を満たしていることが必要です。

- ①2023（令和 5）年 10 月 31 日（火）現在、本学会の正会員であること。
- ②2023 年度会費を 2023（令和 5）年 10 月 31 日（火）までに納入済みであること。
- ③研究発表申し込みを 2023（令和 5）年 11 月 30 日（木）までに学会 HP から行うこと。
- ④発表要旨原稿を 2024（令和 6）年 1 月 31 日（水）までに学会 HP から登録すること。

（発表要旨原稿の様式は、学会 HP をご確認ください）

* 研究発表申し込みについては、すべて学会 HP からの手続きとなります。

* 研究発表申し込みまたは発表要旨原稿の登録が上記期限を過ぎた場合は、受付はできませんので、ご注意ください。

2) 研究発表の区分

研究発表申し込みの際に、必要な発表区分は次の通りです。

- A. 保育者の専門性、資質・能力、保育者養成における今日的課題など
- B. 保育実践研究、保育実践現場との共同研究など
- C. 保育実習・教育実習、実習指導、対人援助職のキャリアデザインなど
- D. 授業実践研究など
- E. 子育て支援、地域連携、高大連携など
- F. 保育者研修、キャリアアップなど

3) 研究発表の形態と予定数

①ポスター発表：300 件程度まで【PDF データ掲載】

* PDF データは 2024（令和 6）年 2 月 6 日（火）までにアップロード

②口頭発表：60 件程度まで【ライブ配信】

* 発表動画は 2024（令和 6）年 2 月 6 日（火）までにアップロード

* 発表件数については、上記件数を上限とさせていただきます。

* 口頭発表が、上限を超えた場合は、ポスター発表に変更をお願いする場合があります。

4) 研究発表の制約

- ①発表研究は、大会での発表時において未発表であるものに限り、すでに印刷製本して公表された研究（単行本、学会誌、紀要〔大学、研究会、園等〕、雑誌等に発表されたもの）は、大会において発表することはできません。
- ②筆頭発表は、口頭発表・ポスター発表のいずれかで1人1回に限り、ただし、連名発表者となる場合は、筆頭発表を含めて2発表まで認められます。同一研究グループ内で発表者を分散させるなどして、複数の発表をする場合も、実質上同一研究グループによる研究である限り、2発表を超える発表はできません。
- ③同一のテーマについては、2発表まで認められます。タイトルの一部を変えても、実質上連続した発表である場合は、2発表を超える発表はできません。

5) 研究発表の成立条件

- ①ポスター発表は、「ポスターでの発表」「要旨集への要旨の掲載」の2条件を満たすことで正式発表と認められます。
 - ②口頭発表は、「（動画による）口頭での発表」「討論への参加」「要旨集への要旨の掲載」の3条件を満たすことで正式発表と認められます。また、発表者は分科会終了前に退席することはできません。
 - ④口頭発表の際、筆頭発表者及び連名発表者は必ず分科会に出席しなければなりません。
 - ⑤研究発表の際、原則として連名発表者全員が分科会に出席しなければなりません。
 - ⑥筆頭発表者がやむをえない理由で発表ができなくなった場合、事前に大会実行委員会の承認を得ることで、連名発表者（他の発表で筆頭発表者となっていない者）が筆頭発表者となることができます（筆頭発表者の交代）。座長への届け出での取り下げおよび交代は無効です。
- * 以上に反することが確認された発表は、『発表取り消し』となる場合があります。

6) ポスター発表の方式について

- ①発表形式：研究題目・発表者・所属が明記された研究の要旨・図・表・写真等からなるパワーポイント等のPDFデータで準備してください。PDFデータは2月6日（火）までにアップロードしていただきます（詳細は別途ご案内します）。一定期間、PDFデータを大会HPに掲載し、質問の受け付けをできるようにします。

7) 口頭発表の方式について

- ①発表時間：1発表につき12分です。その後の質疑応答などの討論は3分とします。
- ②進行等：座長の進行のもと、発表順に従い、口頭発表を行います。
口頭発表はZoomを用いて行います。当日は、事前にアップロードしていただいた発表動画を流し、その後の討議はライブ配信で行います。発表動画は2月6日（火）までにアップロードしていただきます（詳細は別途ご案内します）。

3 大会参加・研究発表申し込みに関する注意事項

1) 申し込み方法に関する注意事項

- ①大会参加は、学会 HP からお願いします。連名発表者も、必ず参加登録をお願いします。
以下の注意事項をよくご覧の上、各種の申し込み手続きを完了してください。
- ②申し込み時には【申込完了メール】が自動配信されます。これにより、申し込まれた内容が受理されたこととなります。【申込完了メール】が配信されない場合は、申し込まれた内容が受理されていない状態ということですので、くれぐれもご注意ください。
- ③申し込みに際して、【申込完了メール】が受け取り可能なサーバーをご利用ください。
お勤め先のサーバーや、メール送受信に使用するソフトの設定によっては、【申込完了メール】が受信されない場合がありますので、くれぐれもご注意ください。
- ④【申込完了メール】に記載された URL から再度ログインしていただき、〈参加者情報〉画面の〈申込内容〉ボタンをクリックして、申し込まれた内容をご確認ください。
- ⑤申し込み日を起点として【申込完了メール】が3日以内に届かない場合には、お手数ですが、申し込み日から10日以内に「第8回研究大会に関するお問い合わせ先」までご連絡をお願いします。それ以降のお問い合わせにつきましては、ご容赦ください。

2) その他

- ①大会参加・研究発表申し込みともに、すでに受け付けを開始しております。
なります。
- ②詳細につきましては、随時、学会 HP に掲載をしていきますので、今後の学会 HP からの情報発信にご注目ください。

大会参加・研究発表及びお支払い手続き等に関するお問い合わせは、今大会の運営業務を委託している以下の [名鉄観光サービス株式会社仙台支店] の担当者に直接ご連絡ください。

日本保育者養成教育学会 第8回研究大会に関するお問い合わせ先

名鉄観光サービス株式会社 仙台支店 (大会事務局)

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4丁目10-3 JMFビル仙台01 6階

TEL : 022-227-3611 FAX : 022-261-4623

E-mail : hoikusyayousei08@mwt.co.jp

営業時間 9:30~17:00 (土・日・祝日休業)

担当 : 志賀・植松